

あさひだより

No.38

特定非営利活動法人あさひ
2023 年
6 月 25 日発行



「あさひ」への思い

特定非営利活動法人あさひ
副理事長 麻川 善行

わたしの子供は、地元の小学校の普通学級で6年間を過ごした。当時、特別支援学級ではなく、普通学級での学校生活を切望したのは、将来この子が地域で生きていくためには、子供時代から多くの仲間との交わり・関わりがとても大切だと考えたからだ。小学校卒業後、特別支援学校中等部、高等部へと進んだ。ここでは専門的な充実した支援体制のなかでの学校生活を送ることができた。そして、高等部卒業を目の前にしてわたしたち両親は途方に暮れる日々を送った。さて、ここからどうしたらよいのか。進路の問題は大きな不安となった。

そのとき、我が家の近くでもあり、この地域に根付いて活動している「あさひ」のことを思い出した。藁にでもすがるといふ思いで島さんを訪ねた。私たちの思いを伝え、相談した。話を聞いた島さんは、一言。「明日からいらっしゃい」。わたしたちはその言葉に胸をなでおろし、安堵の気持ちに満たされて家路についたことを昨日のここのように思い出す。

子供の「あさひ」での生活が始まった。子供にとっては未知の体験である。ひとつ一つの出来事がとても新鮮であり、子供にとっては大きな喜びとなり、やがて自信のようなものが芽生えてくるようだった。帰宅するなり、その日の出来事を報告することが常となっていた。あるときなど、「きょうは、武代さんが引き売りに連れて行ってくれた。・・・」にこにこしながらまだ興奮冷めやらぬ様子で話をしてくれた。この引き売りには、祖母も毎朝自家産の野菜などを朝の引き売りに間に合わせる事が日課のようになり、家族でこの活動を応援した。そして、わたしたち家族もパンを買ったり、交流会に参加したり、さまざまな形で「あさひ」との繋がりを持つようになった。「あさひ」では、このような「引き売り」やパンの販売など働くことを通して、働くことの意味、それを通して地域社会に参加し、その一員になるということをお子たち、そして家族にも教えてくれたように思う。

それから三十余年。わたしは、福祉作業所は療育の場でもあると思う。生き生きと楽しく過ごせる場、できれば創作活動、芸術活動、音楽活動などやりがいのある活動を与えてくれる場であってほしいと思っている。発達障害を含む障害者への差別の解消に関して、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行された。この法律では、障害を理由とする「不当な差別的な取扱い」の禁止と障害者への「合理的配慮の提供」が求められている。このわたしたちの生活する地域社会が、さまざまな障害をもって生活しているひとり一人に寄り添い、優しさを持って支援できることが当たり前、そして自然になればどんなに素晴らしいことかと思う。

子供は今日も「あさひ」に出かける。「今日は忙しい...」
「一人で歩いて行く。」それがいつもの口癖になっている。
そんな後ろ姿を頼もしく見送る。



～麻川副理事長親子～

あさひのえがお



ぶーこっこ (B型)



お米作りも、今や機械化の時代、もみまき機の導入と、育苗ハウスを力を合わせて作りました。



ビニールハウスを改良して、ひよこの育成鶏舎を作っています。

ぶーこっこ (パン工房)



品数豊富な店内



Air レジが導入されました

ぶーこっこ (生活介護)

フリーの日と、調理の日を楽しんでいます。



購入していただいたハイエースで、みんなで楽しくフリーの日を満喫しています。

あさひテレサホーム

～四季のつれづれ～



ゴールデンウィークには、青空の下、バーベキューを楽しみました
一番人気は・・・
「スペアリブ」(*^^)v



はやぶさ寮

敷地内に野菜栽培用のビニールハウスを建てました！



宿舎横の桜の木の下で...



通常総会を開催しました

5月20日(土)、「特定非営利活動法人あさひ 通常総会」を理事、正会員、利用者会員、両施設長16名の参加を得て執り行いました。

2022年度事業報告、決算報告、監査報告及び2023年度活動計画、活動予算が承認されましたことを報告いたします。

会員の皆さまには、別紙決算報告をお送りいたします。

米川崇副理事長、奥野明理事、正会員・小松淳さんが退任されました。NPOの立ち上げ、法人運営、細部にわたりご尽力いただきました。心より感謝申し上げます。

【2023年度・理事】

理事長 矢板力
副理事長 麻川善行
理事 田中修一
板橋かほり
島武代
監事 森尾正照

【正会員】

奥野明
鴨田孝
清水かよ子
小林一仁
山本ひろ子

退職のご挨拶



前テレサホーム施設長 島 武代

6月の季節、あさひでも田植えが終わり田んぼではカエルが一斉に鳴きだし恒例の風物詩をむかえました。

20年来、雲柱社さんの皆様による手植えと機械植えで田植えが行われイベントとして位置付けられたこの季節、懐かしく脳裏に浮かんできます。(コロナ禍でこの3年間はあさひのみの田植えになっております)

昭和53年にあさひ福祉作業所を立ち上げ、今年で45年になり、原木椎茸栽培・養豚に始まり、養鶏・工場作業・稲作・菓子製造と取り組みました。

平成21年4月創業者の島充弘が亡くなり、平成23年にグループホームのみNPO法人あさひとなり、平成30年に多機能型事業所を立ち上げました。

ここまでたくさんの不手際がありましたが、多くの方々のお力添えで継続してますこと心より感謝申し上げます。

私は79歳になり、職員として勤めることはつらくなり3月をもって退職といたしました。皆様に助けていただきましたこと心よりお礼申し上げます。

これからも矢板理事長のもと職員一同誠心誠意取り組んでまいりますので、温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



2022 年度も皆さまからご支援を賜り誠にありがとうございました

賛助会員へのご加入、寄付金、物品の寄付、ボランティアなど様々な形でご支援・ご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

賛助会員 95 名 / 会費 530,000 円 / ご寄付 735,641 円 (2022 年度)



～ご支援の品～

- ・野菜 ・野菜の苗 ・果物 ・食材 ・菓子 ・廃油
- ・衣類 ・タオル ・布巾 ・衛生用品 ・まき
- ・飼料米 ・もみ殻 ・食料品 ・衣類
- ・手作り品、洋服、バッグ、マスク ・アクセサリ



様々なデザインの手作り洋服
ありがとうございました♡

賛助会員募集しています

NPO あさひは、活動の主旨にご理解・ご賛同くださる方々のご支援に支えられています。

今年度も、引き続きのご支援、またご新規での賛助会員加入を賜りますようお願い申し上げます。

【年会費】5,000 円 (お振込先は下記にお願いいたします)

あさひの理念

ハケ岳のふもと「共に働き」「共に生きる」

♡♡♡♡♡ ありがとうございます

あさひの活動は皆さまのご理解・ご支援に支えられています。感謝申し上げます。

ご支援いただける賛助会員を随時募集しております。

賛助会員年会費 5,000 円 (随時ご加入可)

賛助会費・寄付金等お振込み先

郵便振替口座番号：00220-1-98254

他金融機関より振込：

ゆうちょ銀行 〇二九 当座 0098254

加入者名：特定非営利活動法人 あさひ

* 通信欄にお振込名目・お名前・ご住所・お電話番号を
明記の上、お振込みください。

特定非営利活動法人あさひ



■「ぶーこっこ」

就労継続支援 B 型、生活介護

■「あさひテレサホーム」

共同生活援助事業

TEL：0551-30-9367

〒408-0002

山梨県北杜市高根町村山北割 86-6

TEL：0551-47-3950 FAX：0551-30-4044

ホームページ：<https://www.asahi-teresa.com/>

E-mail：asahi-fukushi@cd.wakwak.com

編集：NPO あさひ